

参加費
無料

オン
ライン

要事前
申込

東京大学社会科学研究所主催
社研サマーセミナー2025

「測ること」の社会科学

2025.8.6(水)
12:30-16:00

■12時40分 開会の挨拶 宇野重規 社会科学研究所 所長

■12時50分-13時50分 比較を通じて見る日本社会の「就職」：働く力をどう養い、測るか

有田伸 社会科学研究所 教授 専門分野：比較社会学

人々が学校を卒業し、仕事を得るまでの「就職」のプロセスは、それぞれの制度条件の影響を受け、国ごとに大きく異なっています。日本の就職にはどのような特徴があるのか、またそれはなぜなのかを、「働く力の養い方・測り方」にも着目しながら、社会学の視点に立って考えていきます。

■13時55分-14時55分 デジタルプラットフォームとの向き合い方

石原章史 社会科学研究所 教授 専門分野：組織の経済学、産業組織論、政治の経済学

近年のビッグテックを中心に「利用者に価値を生み出す場を提供する」プラットフォーム事業が展開され、ビジネスモデルとして大きな影響を与えています。プラットフォーム事業が既存のビジネスとどう異なるのか、どのように利用されているのか、また規制政策など政策的にどのようにかかわるべきなのかを概観していきます。

■15時00分-16時00分 格差の検証と差別のジレンマ：不平等の統計的把握の有効性とその問題

永吉希久子 社会科学研究所 教授 専門分野：社会学

ジェンダーやエスニシティなどにもとづく格差の解消が重要な社会的課題となる中、格差の所在を明らかにするための統計分析に注目が集められています。他方で、統計分析が差別の強化を招きうるとの指摘もなされています。本セミナーでは、格差の解消に向けた統計的手法の有効性と課題を考えます。

◇司会・コーディネーター 藤谷武史 社会科学研究所 教授 森本真世 社会科学研究所 准教授

■会場：オンライン

■対象：中学校および高等学校教員ほか(一般の方も参加可能)

■定員：50名

■申込締切：2025年7月25日(金)

■受講証：講義をすべて受講された方には受講証を発行します
(希望者のみ、PDFにて発行)

■お申込み方法：右下の社研ウェブサイトへアクセスし、必要事項をご記入の上、お申込ください。参加に際して配慮が必要な方はお申込時にお知らせ下さい。

[お問合せ先]

東京大学社会科学研究所

広報室 社研サマーセミナー担当

Email : summerws@iss.u-tokyo.ac.jp

